

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和5年8月7日（月）13時30分～15時10分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官、新井安全審査官、石井安全審査官、山下安全審査専門職、椎名係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- 特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
- 特定原子力施設の設備機器における解体撤去について
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について

○原子力規制庁は、上記説明内容について東京電力と認識を共有するとともに、以下のコメントを伝えた。

- 特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
 - ✓ ゼオライト土嚢等処理設備の設置については、原子力規制庁からの質問が多く残っているため、準備が整ったものから順次回答すること。また、モックアップ試験の状況についても報告すること。
 - ✓ 2号機の燃料デブリ試験的取り出しについては、申請内容の概要を説明するとともに、議論すべき課題について整理すること。
- 特定原子力施設の設備機器における解体撤去について
 - ✓ 記載の方向性について認識の相違はないこと。
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
 - ✓ 今後の申請予定案件のうち固体廃棄物貯蔵庫第10棟の火災検知器に関する記載の変更について、当初不要としていた火災検知器を設置することになった経緯を面談で説明するとともに、当該検知器の原子炉等規制法上の取扱を整理して示すこと。

○東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. 資料

- 特定原子力施設の実実施計画の審査等に係る技術会合の議題について

- 特定原子力施設の設備機器における解体撤去について
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について

以上